

DCM CONNECTOR

配線接続用

この度は弊社製品<DCMコネクタ>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品は車両へMAP CONTROLLER等の制御パーツを取り付ける為のハーネスです。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなってください。

お願い! 本製品は性能向上他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなってください。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備を持った安全な場所でおこなってください。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温度もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

【取り付け方法】 ◎センサーに接続するか? ECUに接続するか? を決めてから下記手順にて作業をおこなってください。

◎接続位置等はデスターにて確認していただく必要があります。

<取り付け作業の前に>

- 取り付け作業には電圧計、圧着ペンチ、ビニールテープ、ラジオペンチ等が必要です。
- ハーネス類は運転の障害にならぬようにまとめて本体を固定して下さい。
- 取り付け作業は**キースイッチを抜いてから12分間はおこなわないで下さい。**(完全に電源がOFFになるまで)
→キースイッチを抜いても数分間電源がOFFにならない車両がある為

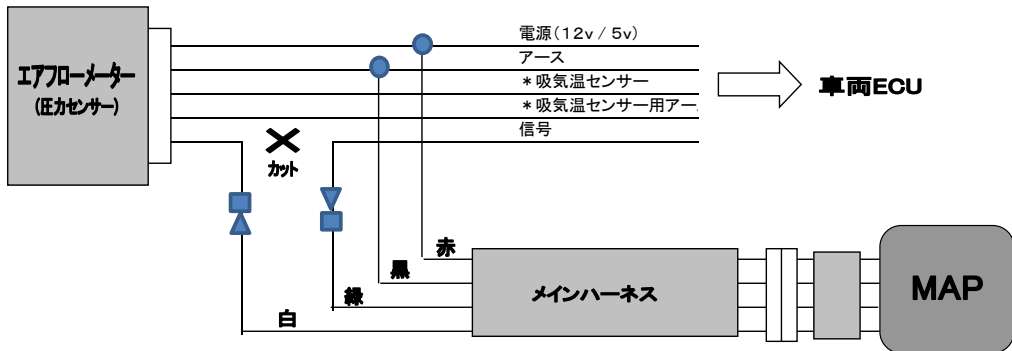
注意

- 電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』してしまうことがあります。
- 取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなってください。→バッテリーをはずした場合は(アイドリング学習)が必要な場合があります。
- ECU制御に関わる部分です慎重に作業をおこなってください。接続ミスをおこした場合、車両のセンサー、ECUが破損する可能性があります。
- 接触不良がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てまいります。
この場合専用の機器しかエンジンチェックの点灯は消せないことがあります。十分注意して作業をおこなってください。
- ◎本体は防水処理はおこなっていません。エンジンルームへ固定させる時は、必ず付属の防水ゴムカバーを使用して下さい。
- ◎配線はファンベルト等に干渉しないように引き回して下さい。
- ◎配線は点火系、インジェクター系、オーディオアンプ、地デジ等のノイズが発生しやすい配線と束ねないで下さい。誤動作する可能性があります。

▶ →オスギボシ&スリーブ ■ →メスギボシ&スリーブ ● →スプライス

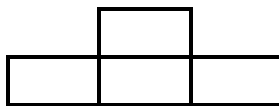
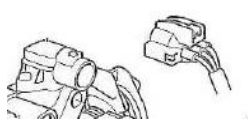
<接続図・センサー接続>

*エアフローメーターに接続する時→MAP-A *圧力センサーに接続する時→MAP-B or C



- ①エアフローメーターの**12v電源**へMAPの赤線を接続します。(ハンダ付け推奨)
*圧力センサーの場合は**5v電源**へ接続して下さい。(MAP-B, MAP-C)
- ②エアフローメーターのアースへMAPの黒線を接続します。(ハンダ付け推奨)
*アースは2箇所ある場合はエアフローセンサー用アースへ接続(どちらのアースかは判断して下さい)
- ③信号線をカットし、エアフロー(圧力センサー)側へMAPの白線、車両ECU側へMAPの緑線をオスメスギボシにて接続して下さい(ハンダ付け推奨)

<参考/ホンダRAオデッセイ・DC5インテグラ>



この方向より見た図 → 圧力センサー

